

## 抑圧を焦点としたクリティカル・ソーシャルワーク

### －「境界」から問い直す－

○ 愛知県立大学 田川佳代子 (会員番号 000267)

キーワード3つ：抑圧 クリティカル・ソーシャルワーク 境界

#### 1. 研究目的

本研究は、抑圧の体験を見つめ、描くことを通して、経営管理主義の脈絡にあるサービス提供とは異なる、それを越えたところの、対話のなかで新たな歴史を創り出すための実践として位置づけられるソーシャルワークについて研究を行いたいと考えた。

「支援困難」事例として封じ込められるために、抑圧された人の声が用いられるべきではない。収集された人の声は、たとえ権力に対して語られたものでも、それを持ち帰り代わって語る話し手によって、政治的意味は取り除かれてしまう。そして語られた物語の背後にある客観的な社会構造や歴史的事実に照らされることなく、中途半端な構成物がつくられる。抑圧された人の語りは、遭遇した出来事が事実として社会的に認識されることを求める行為である。だが、それに無関心な援助者のニーズ・アセスメントの解決方法により、政治的な要求であっても、行政的、実務的に管理可能なサービス提供に変換されてしまう。

この世界を支配する立場の視点からではなく、劣位におかれた、支配的ではない、周縁化された立場から眺めたところから、実践を組み立てることに研究の関心をおいた。

#### 2. 研究の視点および方法

本研究において、政治哲学者アリス・マリオン・ヤングの正義の構想はよりふさわしいと考えた。ヤングは、財の公正な配分に限定するロールズの正義論を批判し、正義を制度化された支配と抑圧の除去として構想した(Young, 1990:15)。

ソーシャルワークは、歴史を通じ、社会の中の抑圧や不正義に関わり、修正や微調整をしてきた。抑圧とは、個々人間、社会集団や階級間、地球規模の全体社会の何れにせよ、経済的・社会的・心理的な支配と搾取を含む人間関係の様態である(Gil, 1998: 10)とする、ギルの定義に依拠した。

Mullaly(2002)による、抑圧に取り組む方法を構成する理論的要素について調べたが、本研究発表においては、「境界」(Zingaro=2008)の視点からそれらを眺め考えた結果について述べる。

### 3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会，研究倫理指針に則り，研究を行い，学会での報告を行う。

### 4. 研究結果

第1に，抑圧が制度的に，支配集団によって維持され，技術的な解決で済まない問題であるにもかかわらず，現実には，管理的，技術的な問題として扱われる傾向にあるということは，抑圧されている人の自己の語りの開示の結果，主流社会の制度に順応する能力を高めることが，即ち”エンパワー”である，というすり替えが起きるおそれがある。また，抑圧された状態が，個人の問題に帰され，社会的諸問題として扱われる機会が失われる。

第2に，階級や家父長制，人種差別，年齢差別，性的志向など，抑圧は構造的に把握され，個人的なものや政治的なものの関連づけられることが必要である。そのため，抑圧の経験を語ること，あるいは個人の周縁化の経験を開示することが求められる。だが，周縁におかれた人たちが語ることによって生ずるリスクについては十分に検討されているとはいえない。語りの拒否，沈黙による抵抗という立場についても検討が必要である。

第3に，近代の平等や社会正義，連帯の理想と，ポスト近代の多様性，差異，文化的相対性への関心について，多様性・多義性を認める相対主義によって，事実について争うこと，葛藤や対立，差異を曖昧にしてしまう。一つの例として扱われてしまう問題がある。

### 5. 考察

ヤングの基準やマレリーの方法は，抑圧された人とそれを規定する人との間に距離をおく。その立場の相互の入れ替えや相互作用はない。この研究で達成したいと考える実践の理論は，援助する側においても，抑圧の経験との相互作用があり，その境界に立つなかで，ソーシャルワークを理論化することを模索することを課題としている。

#### 文献

Gil,D.G.(1998)Confronting Injustice and Oppression, Columbia University Press.

Mullaly,B.(2002)Challenging Oppression, Oxford University Press.

Zingaro, L.(2007)Rhetorical Identities: Contexts and Consequences of Self-Disclosure for ‘Bordered’ Empowerment Practicioners(=2008,鈴木文・麻鳥澄江訳 『援助者の思想』御茶ノ水書房).

Young, I.M.(1990)Justice and the Politics of Difference, Princeton Univerity Press.

付記：本研究は JSPS 科研費 23530734 の助成を受けたものです。